

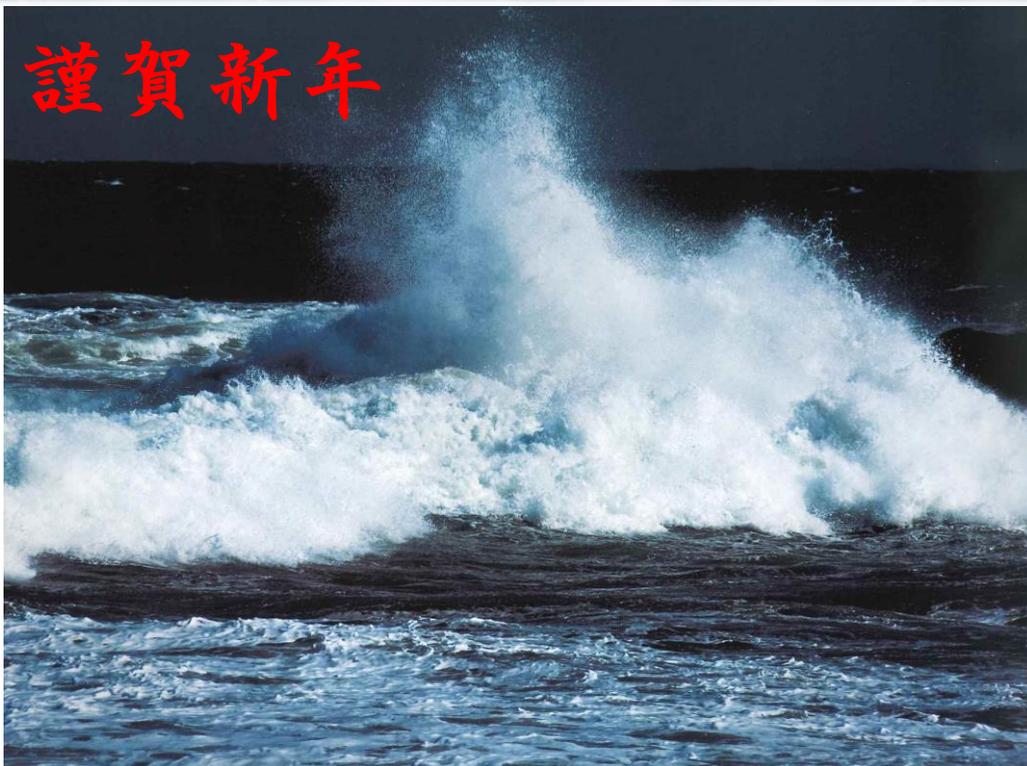


医療法人碧水会
汐ヶ崎病院

さざなみ

令和 3 年
1 月発行
第 63 号

〒311-1115 茨城県水戸市大串町 715 番地
TEL (029) 269-2226 FAX (029) 269-4387
<https://shiogasaki.net>



謹賀新年

沖暗く寒の怒涛に励まされ

写真：坂本 伸一郎
俳句：中村 恭子

目次 contents

- 表紙・目次 … 1p
- 年頭挨拶 … 2p
- 精神科訪問看護紹介 … 3p
- 汐ヶ崎病院
認知症疾患医療センター
講演会開催報告
… 4p～5p
- 作業療法室連載
VOL. 3 … 6p～7p
新任職員紹介 … 7p
- 診療案内・
汐ヶ崎ガーデン・
表紙解説・編集後記
… 8p

基本理念

わたしたちは、こころを病む方や家族の皆様に安心していただけるよう、よりよい精神科医療を提供し、地域に信頼される病院をめざします。

院長年頭挨拶



令和3年の年頭に当たり、ご挨拶申し上げます。本年もどうかよろしくお願ひ申し上げます。

旧年中は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に翻弄されました。中国から始まりあっという間に全世界に拡散し、その状態が新年を迎えた今もまだ続いている状況です。皆様におかれましては、健康面での不安に加え、経済的な打撃や労働環境の激変など、多くの面で影響を受けていることと拝察いたします。

当院でも同様の状況にあります。当院は精神科の単科病院ですので、COVID-19治療に直接かかわってはおりませんが、市中感染状態の今、緊張感を保ち、感染防御の心がけを強く持ちつつ、日々の臨床業務を行っております。

このような厳しい状況の下ですが、新たな年を迎え、よりよい精神科医療を皆さまにご提供できますよう、また、皆様のお役に立てますよう、更なる精進を重ねていく所存です。

どうか皆様の温かいご支援をいただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

令和3年1月吉日
医療法人碧水会汐ヶ崎病院
院長 高沢 彰

看護部長年頭挨拶



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

ご承知の通り、昨年、令和2年の初めから新型コロナウイルスが発生し、これまで経験したことのない流行となりました。当院でも感染対策委員会を中心に新型コロナウイルスに対する予防策を講じ、対応してまいりました。まだまだ完全なる終息は見えませんが、ワクチンの開発が進むなど、わずかながら明るい兆しもあります。面会や外出外泊制限等でご迷惑をおかけしますが、ご理解の程よろしくお願ひ致します。

当院では昨年度ホームページがリニューアルされ、人事評価制度の導入が決まりました。人事評価制度導入の目的は「成果・役割・責任」を重視する組織風土、職員の意識改革、病院一丸となってパフォーマンスを高める組織づくりが目的です。部長に就任以降、教育研修プログラムの充実を図り取り組んでまいりました。今回の人事評価制度を導入することで、さらなる人材育成・モチベーションアップ・働きやすい職場づくりに繋がるのではと考えております。

今年度も病院理念のもと、一人ひとりが熱意をもって看護に取り組み、多職種と協働・連携し、地域の皆様に安心して医療が受けられるよう、日々努力してまいります。こんな時代だからこそ、「頼りになる」と言われる病院であり続けたいと思います。

令和3年1月吉日
医療法人碧水会汐ヶ崎病院
看護部長 人見 和宏

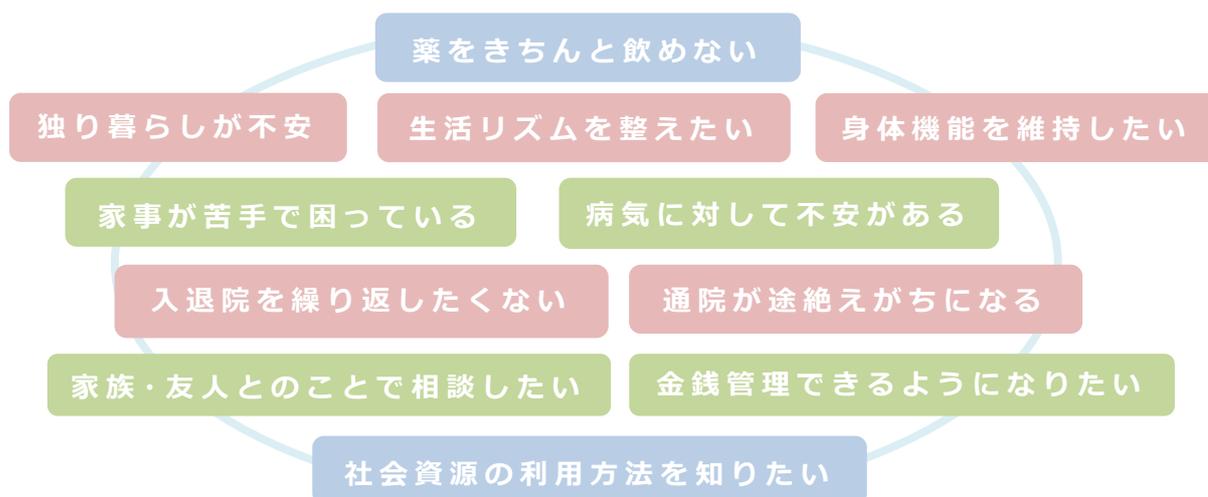
精神科訪問看護の紹介

当院での精神科訪問看護の歴史は長く、平成7年高沢院長からの提起により外来の一環として始まりました。外来業務との兼任という事もあり、ケースワーカーとの同行訪問が主で、当初より社会資源・サービスの導入、家族への相談・支援など多岐に渡るサポートの提供ができました。

平成24年7月には専任看護師2名にて新しい部署として活動がはじまりました。ケースワーカー・作業療法士・臨床心理士・薬剤師、また病棟スタッフ等の協力も得られての訪問でした。ニーズの高まりと共に訪問スタッフメンバーも徐々に増え、現在は看護師5名(うち非常勤3名)で活動しています。

訪問看護は主治医指示のもとで導入となります。訪問看護ステーションではありませんので、当院に通院している方のみ対象となります。医療機関での訪問看護であるため、主治医や多職種と密に連携が取れる事が当院訪問看護の強みとなっています。

具体的には服薬の管理や方法を一緒に考えたり、身体面での相談、日常生活での悩みや援助など継続的なケアを提供し、安定した生活のサポートを行っています。



…など一人ひとりに合わせた援助を行っています



私たちは、
治療を継続しながらその人がその人らしく
生きることを共に考え、
「あんなことがしたい」
「こんなことがしたい」との気持ちに寄り
添い、地域で安心した生活が送れるような
サポートを心掛けています

※ 安心して訪問が受けられるよう感染症対策に留意して活動しています。

※ 訪問看護をご希望の方はお気軽に当院スタッフにご相談ください。

令和2年 汐ヶ崎病院認知症疾患医療センター

介護専門職を対象に、令和2年11月26日、ホテル・ザ・ウエストヒルズ・水戸にて「高齢者の発達障害～介護困難の背景にひそむ課題～」をテーマに高沢彰センター長による講演会を開催しました。

新型コロナウイルスの流行の中での講演会となり、開催方法に迷いもありましたが、ホテルの皆様にも最大限の感染予防をして頂き無事に終えることが出来ました。この場をお借りして感謝申し上げます。



毎年、当認知症疾患医療センターでは、介護専門職の方々に向けた講演会を開催しております。

いつもテーマ選びに悩むところですが、今回「高齢者の発達障害」というテーマに辿り着いた経緯は、日頃の診療にありました。

「記憶障害は感じないのですが、問題行動に困っています」「認知症なのか分からないけどトラブルが絶えません」というご相談を、介護専門職の方から受けられることが増えました。支援者・相談者の困り感、実際の診察場面のご本人の様子、これまでの生活歴や生活習慣などから、「認知症」や「精神疾患」では説明のつかない「発達障害」特性が強く目立つ方の診療が続きました。BPSD治療と共に、その方の背景に「発達障害」が潜んでいるという見立てをもつことで、ご本人への理解が深まり、より治療やケアがスムーズに運んだことがありました。

そこで今回、目の前のご本人を知る為の一つの見立てに「発達障害」という概念をもち、その特性理解を深めることが日頃のケアに役立つのではないかと？発達障害を知る事で支援者側に心の余裕が生まれるのではないかと？という私達の思いから「高齢者の発達障害」というテーマに至りました。➤

参加された方々からは、「もっと深く知りたいので続編を」「発達障害という視点を持つきっかけになった」「その方の特性を知ることから支援をする大切さを学んだ」という感想を頂きました。

また、質疑応答場面では、発達障害に関わらず、「利用者様に振り回され、巻き込まれてしまい、支援者が疲弊してしまうケース」への対応についても話題が広



がりました。院長からは「私が何とかしなくては！と、最初から前のめりになっていませんか？取り込まれない冷静な距離の取り方を心がけて」とのメッセージがあり、この言葉に「日頃の自分の関わり方への気づきとなった」との声も多数ありました。

講演会全体を通して、少しでも皆様のお役に立てたのであれば幸いに存じます。ご参加頂いた皆様ありがとうございました。

来年度の講演会がどんなテーマになるのかは未定です。日々の相談や診療に向き合い一緒に悩みながらテーマが見つかっていくのかな…と思っています。

また、「このテーマについて勉強したい」というものがございましたら、是非ご意見をお寄せください。関係者の皆様、今後ともどうぞよろしくお願い致します。



汐ヶ崎病院

認知症疾患医療センター
スタッフ一同

医療法人 碧水会
汐ヶ崎病院

認知症疾患医療センター専用電話番号

029-269-9017

今回の秋祭りは各病棟で行い、よさこいクラブのソーラン節の披露、その後各病棟で考えたゲームを行いました。

1病棟ではダーツ、2病棟・5病棟は魚釣りゲーム、3病棟は輪投げをしました。

1位を決めるゲームだったので、皆さん一生懸命取り組んでいました。

ゲーム終了後は白・緑・青・ピンクの全4色のわた飴を選んでいただき、ご自身で作られたりして過ごしました。今回自分でわた飴を作れたことがとても好評で、また是非やりたいとの声が多くありました。

10月 秋祭り



11月 調理活動

日頃から皆さんよりサンドイッチが食べたいと多くの声をいただいており、病棟別の調理活動でサンドイッチを作りました。

サンドイッチの具はツナマヨネーズでしたが、ツナが苦手な方はチョコサンドにして調理しました。5病棟ではフルーチェを作りました。

皆さんとても調理活動が好きな様子で、「またやってね」「今度は〇〇作りたい」等たくさんの感想をいただきました。

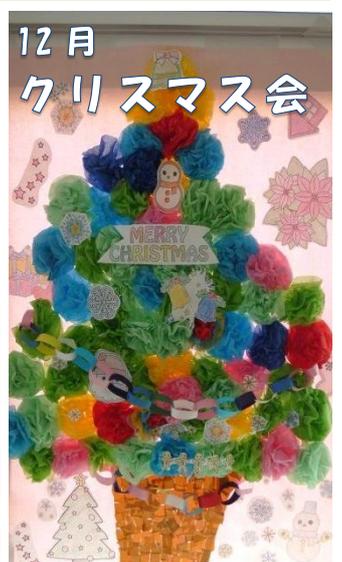
今後もイベント等にあわせて、調理活動をやっていきたいと思っております。



今回のクリスマス会は飾り作りからスタートしました。2週にわたって作り、病棟に飾りクリスマス会を迎えました。クリスマス会では、ビンゴゲーム、カラオケ大会をして楽しみました。

ビンゴゲームでは、景品が出るため皆さん集中してゲームを楽しんでおられました。カラオケ大会では、職員も歌ったりして大変盛り上がりしました。

最後はケーキを食べて、とても楽しいクリスマス会になりました。



作業療法プログラムの一環として、入院患者さんを対象に毎週“アロマ・ヨガ”を実施しています。アロマの香りを楽しみながら、患者さんの心身機能の維持や向上を目指し、導入しました。このプログラムが開始して、半年以上が経過しました。



こうして毎週行える事は、楽しんで参加して下さる患者さんや、スタッフの方々のご協力が全てです。

これからも、身体を動かす事の楽しさをお届けできるように、OTスタッフ一同も成長していきたいです。

令和2年10月に入職致しました、作業療法士の宮崎と申します。

これまでに精神科に関わるいくつかの病院や施設での勤務を経て来ましたが、同じ精神科の医療畑とはいえ、地域性や環境等により大きく特色が違っていると感じております。これまでの経験を活かしつつ、当院の患者さんの笑顔に繋がる作業療法を提供できるよう、努力してまいります。

まだまだ未熟者ですので、皆様のご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

令和2年10月



作業療法室
宮崎 美穂

新任職員紹介

令和2年10月から12月に
入職したスタッフです。

よろしくお願ひします。

令和2年10月



栄養課
水野 浩美

令和2年12月



栄養課
菊池 慶美

令和2年12月



看護部
黒澤 恭平

令和2年12月



施設整備室
鈴木 のぞみ

診療案内

	月	火	水	木	金
精神科 心療内科	高沢院長	清水	高沢	三上	高沢院長
内科			佐藤 (診療応需)	佐藤 (診療応需)	
歯科			宮永		

診療時間

9:30～12:00 (受付 8:30～11:30)
13:00～16:00 (初診・予約診療のみ)

予約受付

初診の方は事前の予約が必要です。ご予約のお電話は、平日のみ 9:00～11:30、13:00～16:30 に受け付けております。なお、他院からの紹介状がある方は必ずお持ち下さい。

休診日

土・日曜日/祝祭日/
開院記念日(3/1)
盆休(8/13～8/15)
年末年始休(12/30～1/3)



汐ヶ崎病院
(代表電話)
029-269-2226

認知症疾患医療センター
(専用電話)
029-269-9017

汐ヶ崎ガーデン

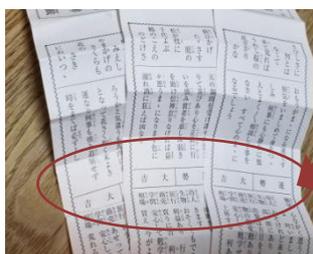


職員有志で集まり、花壇の植替えをしました。

院内の植栽も早や1年が経過し、季節ごとに変わる様子を見てきました。



草花たちも、厳寒を耐え忍んでいるよう…。暖かい春が待ち遠しいですね。



たり、箱根で駅伝を観戦したりとしていたのですが、今年は密を回避するために参拝は近所の神社へ、駅伝はテレビで応援と、いつもとは違ったお正月を過ごしました。その結果、家族とのんびり話をしてくつろぐことが出来て、これはこれで良いお正月だったように思います。近所の神社で引いたおみくじは初めて家族全員が大吉で、幸先よく嬉しくなりました。皆さまの2021年も大吉でありますよう、心よりお祈りしております。

今年も広報誌『さざなみ』をよろしくお願い致します。

表紙・解説



表紙題名：荒れる日本海

撮影場所：青森県西津軽郡深浦町

撮影条件：CANON EOS 1Ds, Mark III

EF28-300mmUSM,
1/800Sec.f/8

編集後記

明けましておめでとうございます。コロナ禍での新年、皆さまどう過ごされましたでしょうか？

私も例年では笠間稲荷神社に参拝に行ったり、箱根で駅伝を観戦したりとしていたのですが、今年は密を回避するために参拝は近所の神社へ、駅伝はテレビで応援と、いつもとは違ったお正月を過ごしました。その結果、家族とのんびり話をしてくつろぐことが出来て、これはこれで良いお正月だったように思います。近所の神社で引いたおみくじは初めて家族全員が大吉で、幸先よく嬉しくなりました。皆さまの2021年も大吉でありますよう、心よりお祈りしております。

さざなみ委員：鈴木 彩